

2012/11/15

日本比較文化学会関西支部・関東支部合同例会のご案内

関東支部長 近藤俊明

関西支部長 北林利治

日に日に、秋が深まってまいりましたが、会員のみなさまには、お元気でお過ごしのことと存じます。下記の要領で関西支部と関東支部の合同例会を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

日時：2012年12月8日（土）13:00～17:00

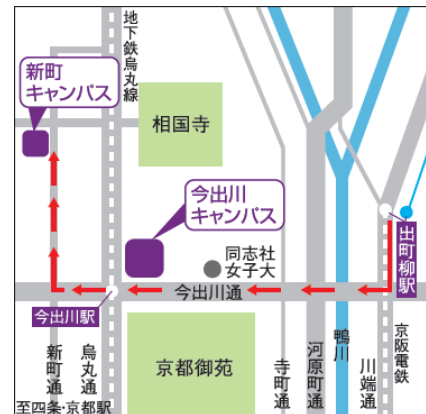
会場：同志社大学新町キャンパス

臨光館 208, 209, 210 教室

（新町キャンパスへは、地下鉄烏丸線今出川駅4番出口から、今出川通りを西進し、新町通りを北進してください。徒歩5分程度。）

*講演のあと、関西支部の総会を開きます。

プログラム



研究発表（第1室）13:00～16:00 臨光館 208

司会：丸橋良雄（京都大学）

奥山裕介（日本学術振興会特別研究員・大阪大学大学院）

「19世紀コペンハーゲンの娯楽スペクタクル文化と北欧地域像の関係—ヘアマン・バング『化粧漆喰』におけるティヴォリ遊園をめぐって」

國井 裕（サイバー韓国外国語大学）

「日韓道德教育にみる愛国心の様相」

木塚恵子（京都女子大学非常勤講師）

「英語絵本の世界が育むもの：大学生への効用を探る」

西川美香子（京都大学国際交流推進機構）

「海外留学前の準備英語講座 —インストラクショナルデザインに基づくコースデザイン—」

中村友紀（関東学院大学）

「抵抗のスペクタクルとしての復讐劇：『アントニオの悲劇』の仮面劇」

鈴木宣行（創価大学）

「川端康成における“感性の美学”について—『伊豆の踊子』の《擬音語》表現を通して—」

研究発表（第2室）13:00～16:00 臨光館 209

司会：長谷部陽一郎（同志社大学）

任 天輝（同志社大学大学院文化情報学研究科）

「中国語への翻訳時における表現構造に関する一考察—英字新聞の見出しを中心に—」

川口 さつき（早稲田大学日本地域文化研究所招聘研究員）

「曲従のパロディとしての「心中未遂事件」－平塚明（らいてう）の塩原事件を巡る一考察－」

末富浩（京都大学人間環境学研究科研究員）

「エドモンド・バーク『自然社会の擁護』のパロディー性について」

塩田英子（同志社大学嘱託講師）

「防災意識の語用論：反復がまねく危機感の喪失について」

西山幹枝（立命館大学）

「日本語の主要部内在型関係節の関連性理論による分析」

藤枝善之（京都外国語大学）

「映画で学ぶ英語の丁寧表現」

研究発表（第3室）13:00～16:00 臨光館 210

司会：金志佳代子（兵庫県立大学）

諸 芸穎（同志社大学大学院文化情報学研究科）

「杭州方言の諸特徴に関する一考察 — 単数概念を人称代名詞の複数で表す表現を中心に—」

岡本慎平（同志社大学大学院文化情報学研究科）

「～がある」構文に関する意味分析—その程度性をめぐって—

八野友香（サイバー韓国外語大学）

「原因理由文に関する日韓対照研究」

河野 康治（京都大学大学院人間環境学研究科）

「姉小路のまちづくり」

藤田昌志（三重大学）

「北一輝の日本論・中国論」

鄒 賢（同志社大学大学院文化情報学研究科）

「日本語と中国語における感情表現についての対照研究—人称制限及び構文を中心に—」

講演（臨光館 208 教室）16:10～17:00

司会：山内信幸（同志社大学）

中川久公先生（京都ゑびす神社宮司）

「雅楽の世界」

関西支部総会

会計報告

その他

*例会のあと、河原町「居酒屋樽」(Tel. 075-221-1918)にて、懇親会を開きます。こちらのほうも、ふるってご参加ください。